

# 令和5年度 大田区立矢口東小学校 学校経営計画

校長 雨 笠 常 宣

## ◎ 教育目標

人権尊重の精神を基調とし、心身ともに健康で、意欲をもって主体的、創造的に取り組む児童の育成を目指し、次の目標の達成に努める。

### ◎自ら学ぶ子(令和5年度 重点目標)

**学力向上だけでなく**

- ・ **自己解決力(問題を解く手立てが考えられる子)**
- ・ **意欲力(言う気、やる気、確かめる気)**

**を高める。**

#### ・心豊かな子

自他の思いを考えられる子に育てる。  
自己肯定感を高める。

#### ・たくましい子

体力テストの結果を児童自らが感じ、自己の体力を高めようとする  
気持ちを育てる。

## ◎ 生き生きとした学校

教職員及び児童対象に生き生き度を計る。

17項目を確認。(末頁参照)

### **実践と意識化を図る。**

- ・ 教職員 ・ ・ チーム矢東小として互いに協力を。
- ・ 児 童 ・ ・ 学校生活が楽しい。  
子どもとの語りや一緒に遊ぶ(児童理解の徹底)
- ・ 保護者 ・ ・ 我が子が元気に学校に行く。  
教職員との忌憚のない会話。
- ・ 地 域 ・ ・ 学校教育に協力したいと思う。  
子どもたちの学校生活の様子が分かる取り組みを。

◎ 目指す学校像

**子ども…生き生き 保護者…納得 地域…信頼 教職員…笑顔で協働**

- ・ 児童が明るく元気に生き生きと学び合える学校
- ・ 保護者が安心して子どもを任せられる学校
- ・ 地域力を借りてともに子どもの成長を考え合う学校
- ・ 教職員が個々の力を発揮し合える協力的な学校

◎ おおた教育ビジョンを意識した学年・学級経営を。



・ プラン1 未来社会を創造的に生きる子どもの育成【未来】

◎ プラン2 学力の向上【知】

・ プラン3 豊かな心の育成【徳】

大田教育ビジョン(概要版)が  
閲覧できます。

・ プラン4 体力の向上と健康の増進【体】

・ プラン5 魅力ある教育環境づくり【学校・教職員】

・ プラン6 学校・家庭・地域が一体となってともに進める教育

【学校・家庭・地域】

◎ 学習指導

学力の向上、特に基礎、基本の徹底とともに、

活用する能力の向上にも努める。

国語・算数は、他の教科の基礎ともなる。

問題を解く手立てが考えられる・・・既習内容を活用させる学習指導

・ 習熟度別指導（算数）

少人数によるグループ指導（習熟確認テストによる習熟状況を確認）

希望制による指導を原則として児童一人一人の実態に則して担任、学年、少人数担当が協議し、児童に確認をして適切な指導をする。

・ スパイラル的な指導

言語活動（言葉、漢字、計算）は繰り返しの学習が必要

（教育活動全体を通して指導をすすめる）

・ 東京ベーシックドリルの活用（算数）

卒業までに全員が4年生までの学力を付ける。

1～4年生は、当該学年の診断テストの7割以上の習熟を80%身に付けさせる。

目標達成のために、確認シートをもとに土曜日を含めた補習や夏季休業中に必要に応じて各児童に課題として提供していく。

・ 大田区学習効果測定の結果を踏まえ、習熟状況保護者へ伝える。

児童には、学習の手立てを伝える。

◎ 生活指導

学校生活は、集団生活が基本。

(コロナ対策を緩和しながらも、できうることを念頭に取り組む。)  
様々な考えをもつ友達とどのように接するか、各学年の発達段階を踏まえた指導をする。

- ・ 学校生活調査と学級集団調査 (W e b Q U) の活用
- ・ **生活スタンダードの確立 (学習スタンダードと含めて)**

- ・ あいさつ、思いやり、感謝、奉仕  
早寝・早起き・朝ごはんの徹底、**遅刻“0”**

忘れ物“0”を目標

- ・ 安心、安全の徹底

怪我や事故に対して、教職員が危機意識をしっかりと持ち、児童が安全に過ごせるように努める。

P T Aや地域の方々との連携を密にして、地域での安全にも啓発をしていく。

児童一人一人に対しても「自分の身は自分で守る」を念頭に交通安全、防犯、防災の指導に心掛ける。

各家庭においても自身の子供だけでなく、身近にいる子に対しても我が子同様に見守るように啓発をする。

- ・ 学校緊急メール配信システムの活用

**登録をお願いします。**

地域でのセキュリティー強化、学校からの緊急連絡等を配信。

☆ 登録方法は、担任にご確認ください。

◎ 校内研究について

**キャリア教育の推進を受け、新たな教科「未来科」を見据え研究をすすめる。**

**その中には指導の系統性**を意識した研究を。

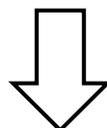
- ・ 今まで学習してきたことを生かした授業展開を形成。
- ・ 学習スタンダードの確立  
学年ごとに系統性をもった学習姿勢を身に付けさせる。

**令和7年度から大田区では独自教科「おおたの未来づくり」**

～STEAM 教育等の教科等横断的な学習の充実～

「子どもを今後の I T 社会に順応した競争力のある人材に育てていく」

**自ら可能性を伸ばし、未来を拓き地域を支える人を育成**



**創造的な資質・能力の育成**

- ◎ 特別支援学級への理解
  - ・当該保護者との連携
  - ・各学年・学級での理解、啓発（含む保護者）

**（交流を再開）**

- ◎ 特別支援教室への理解と対応
  - ・個別に指導を要する児童に対して、  
個々の適性にあった指導をすすめる。
  - ・自立への支援  
対象児童の実態を特別支援コーディネータとともに関係機関を含めた  
ケース会議を実施して検討していく。  
単に学習の遅れを補うものではないことを確認する。

## 生き生き度チェック項目 上学年（4～6年）

1	いつも、早寝・早起き・朝ご飯を行っています。
2	元気にあいさつや返事をしています。
3	自分の力で行動しようとしています。
4	体を動かして遊ぶことを楽しんでしています。
5	勉強や遊びを最後まであきらめないでやろうとしています。
6	自分の思いや考えを伝えることができます。
7	相手の思いを考えようとしています。
8	協力し合い、友達と一緒に遊んでいます。
9	自分の気持ちを整理する力をもっています。
10	約束や決まりを理解し、守っています。
11	地域の人とのかかわりを大事にしています。
12	感じたことや考えたことを自分なりに表しています。
13	絵本や物語に親しみ、想像する楽しさを味わっています。
14	美しいものや心を動かす出来事に触れ、感じる心やイメージを大事にしています。
15	遊びや生活に必要な言葉を知り、状況に応じて使います。
16	身近な環境にかかわり、発見を楽しんだり考えたりしています。
17	栽培や飼育活動を通して生命の尊さに気付きます。

- ◎ 特別支援学級への理解
  - ・当該保護者との連携
  - ・各学年・学級での理解、啓発（含む保護者）

**（交流を再開）**

- ◎ 特別支援教室への理解と対応
  - ・個別に指導を要する児童に対して、  
個々の適性にあった指導をすすめる。
  - ・自立への支援  
対象児童の実態を特別支援コーディネータとともに関係機関を含めた  
ケース会議を実施して検討していく。  
単に学習の遅れを補うものではないことを確認する。

## 生き生き度チェック項目 下学年（1～3年）・5組

1	いつも はやね・はやおき・あさごはんを おこなっています。
2	げんきに あいさつや へんじを しています。
3	じぶんのことは じぶんで やっています。
4	からだをうごかして げんきに あそんでいます。
5	べんきょうや うんどうを さいごまで なげださずに やっています。
6	じぶんの きもちを せんせいや ともだちに はなせています。
7	あいての きもちを かんがえています。
8	ともだちと なかよく あそんでいます。
9	わがままを いわずに がまんすることができます。
10	やくそくや きまりを まもっています。
11	おとなの ひとに あったら あいさつが できます。
12	ほんを よむのが だいすきです。
13	らんぼうな ことばは つかっていません。
14	あたらしいことを はっけんするのが すきです。
15	やさいや はなを そだてたり どうぶつを かわいがるのが すきです。